

## 6 豊かな心部会のまとめ

研究主題にもあるように、「豊かな心」を育みながら、一方で「確かな学力」を定着させる教育活動を進めている。この2つの課題に関わる活動は、いわば車の両輪であり、子どもたちが「生きる力」をバランスよく身に付けるための基盤となる活動であると認識している。豊かな心部会は、本校が実施している保護者や地域の方々との交流やふれあい学習、また、各教科や総合的な学習の時間、道徳、特別活動、学校行事等で取り組んでいる学習活動の内容について検討している。以下は、その事例とまとめである。

### (1) 学校・地域ぐるみで心を育む

子どもたちの日常生活を見ていると、以前に比べて戸外で遊び自然とふれあう機会が少なくなり、家庭や友人宅で遊び過ごす時間が多くなっている。そのため、生活経験も乏しくなる一方、地域社会の中で地域の各世代の大人と交わることも少なくなっている。このような現状の下で、互いに各世代間の交流を進めコミュニケーションを体験的に学ぶことは、子どもたちが心豊かに育っていくための大切な過程である。そこで、部会では、地域学習や地域の人々とのふれあいを通して学ぶ活動を重視し焦点化するとともに、小中学校の段階において必要な指導事項の系統性や活動内容の精選、また連携のあり方や小中合同の行事等について実践を通して検討した。

### (2) 小学校・中学校それぞれの取組

[小学校] ※実践事例編に別掲

「生活科」では、伝統的な地場産業である「うすいたづくり」を教材化して、長く生産活動に携わる地域の方と向き合いながら、聞き取り等の体験活動を通じてふれあい確かな学びにつなげた。また、富貴たんけんとして「たばこの葉づくり」を題材として取り上げて、学校の近くで栽培に励むおじいちゃんとおばあちゃんにと取材し話し合う活動から仕事の内容や工夫、苦労等を学んだ。

ここでの学習が、中学年「社会科」における地域学習につながるように、系統性や指導内容の工夫や検討を進めたい。なお、地域学習の題材として…例えば、以下のような素材も教材化し扱うことができる。

[ とうき みょうが しそ ひのきひも 経木・しゃもじ 等 ]

「総合的な学習の時間」では、昨年度まで地域の産業や歴史についての調べ学習を中心に展開してきた。今年度は、これまでの学習内容や方法を基にして『身近な地域＝校区』のフィールドワークを進め、富貴の植物(野草)を題材として調べたが、子どもたちにとって、地域の豊かな自然や環境について、改めて気づき見つめ直す機会となった。

このような地域学習を通じて、子どもたちの描いていた自分のふるさとについてのイメージや思いはどのように変化したのだろうか。子どもたちの感想にもあるように、少なくとも地域への思いや関心が高まり、愛着がもてるようになったと思われる。今後、子どもたちが学習を積み上げて、やがて自分の育った地域(郷土)について、展望をもって将来像や町作りについて考えるようになれば、との願いをもっている。また、このような小学校での活動を、中学校での地域学習やみんなの学習(総合的な学習)における課題学習につな

げるように、その関連を図りたい。

なお、小学校では総合的な学習の時間等における「英語を学ぼう」の授業において、「英語を使って楽しく学習しよう」をテーマに、コミュニケーション力や表現力を育て国際理解につながる学習を進めている。※実践事例として別掲

[中学校]

「総合的な学習の時間」では、以下の2つの目標を設定している。

- ・地域社会の交流を通して、主体的に問題を解決する力や表現力を高め、自己の生き方を考えることができる力を育てる。
- ・調べ学習を通じて、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断しよりよく問題を解決する力を育てる。

目標に合わせて、次のように「ふるさとふれあい学習」(体験型学習)と「みんなの学習」(課題追求型学習)の2つの柱に基づき、学習活動をすすめている。

1. ふるさとふれあい学習

ちまき作り ・福祉センター訪問 ・敬老会への参加 ・地方行事等への参加

2. みんなの学習

個人が選んだテーマについて調べ学習を進め、まとめをしてパソコン等で発表する。

この学習では小学校での学習活動で身につけた基礎的な力を受け継ぎ、系統立てて発展させることを重視している。なお、小・中学校共通の努力点を次のように設定している。

- ①ふるさと学習を通してふるさとを愛し大切にしようとする心情を養う。
- ②地域の文化や伝統産業に目を向けることによって、自分たちが住む富貴のよさを見つけ、地域とのふれあいを深める。

このような視点に立って、小学校と中学校とで共通する学習活動について見直しを進め、それぞれの発達段階に見合った活動内容を工夫しながら、「豊かな心」を育むために小中合同の取組を進めている。

### (3) 小学校・中学校合同の取り組み

先の、19頁(11)小中合同行事等の項で、取組の経過や具体的な活動の内容について説明をしたが、ここでは「豊かな心部会」と関わって「ふるさとふれあい学習」の学習内容のひとつ、「ちまき作り」について次ページより紹介する。

### (4) 今後の課題として…

#### ①次へのステップとなる活動を目指す

- ・地域に根ざした「総合的な学習の時間」等の指導内容を、豊かな情操を養うという視点でどのように充実し発展させるか検討する。
- ・発達段階に合わせて指導してきたねらいや内容と、子ども達に育った(備わった)心や力についての評価を多面的に検討する。

#### ②指導内容と方法を再検討し、豊かな学びと心を育む

- ・「心部会」として、今までの体験的な学習や地域学習について、実践してきた活動内容を整理する。
- ・「総合的な学習の時間」の減少を視野に入れながら、各教科の学習との関連や系統性について検討し全体計画の見直しを進める。また、これまでの実践事例や成果を土台として更に研究を重ね、小中一貫及び連携の活動を充実させる。